

兵庫の女

武田繁太郎
え・松岡寛一

卒中は、まつをの生涯に予期しない一転機をもたらした。彼女は思いきりよく、かたぢ屋の店をとじることにしたのである。

もう足腰のたたなくなつた身体では、どうじたばなしでも商売をつづけていくわけにはいかない。人ませでやつていけるまつをの性分ではなかつた。

だが、店をたたむとして、問題は奉公人たちの身のふり方だつた。現在、店には一人の番頭と四人の小僧があつた。一番番頭の吉富など、十四の年から、もう二十年ちかくも勤めあげていた。

まつをは、二人の番頭を呼ぶと、意中をうちあけた。

「ながいあいだ二人ともご苦労さんやつたなあ。ちょうどあんたらも、そろそろ一軒店を持ってもええころやと思うんやが、どうや？ もしその気なら、わたしにまかせてもらえるか」

二人に異存はなかつた。まつをは、市橋のつてで、家屋土地を管理している兵庫信栄から、野田という社員をよこしてもらつた。二人のために新しい店舗をさがせた。

ほどなく、野田が、西新開地と板宿に恰好な店の出物をみつけてきた。二人の番頭も気にいつた。彼女はこの店舗を買ひると、二人に小僧を一人ずつつけて、かたぢ屋の営業をわけてやつた。残つた二人の小僧も、それぞれ同業の店に奉公がえさせることにした。

奉公人の処分がきまと、いよいよ店じまいであつた。ちょうど夏の賛文払いにはいつていた。

★あらすじ まつをは十五才で広島の生家を出て鐘紡の女工になり、同じ職場の安福利市と結婚。共稼ぎで苦労した末、呉服屋かたぢ屋を開いた。結婚後二十年やつと子宝に恵まれたが、利市は「南栄商店連合会々長」に選ばれたが、多忙な身は病を起し、翌年三月他界した。亡夫の一周年忌をすますと、まつをは大活躍をはじめるが、ふと口にした酒の味が忘れられなくなる。昭和六年の正月、まつをは高血圧で倒れた。

昏睡状態で生死の淵をさまよつたまつをは、奇蹟的によみがえつたが、彼女の左半身は完全に不隨になつてゐた。三月ちかくも肉身のいい生家でがんばつた長男の良治は、中の試験にパスしてまつをを喜ばせた。やがてまつをも退院を許され、御崎の店にもどつてきた。

かたぢ屋は、三日間、東西屋の鳴りものいりで、店じまいの大売出しをした。商店連合会からも、十名ちかくが応援にかけつけ、みな赤裸姿で、おしかけてくる客たちに威勢よく応待した。番頭たちも、最後のご奉公であつた。

まつをも、店の帳場に坐り椅子を持ちだし、ごつたがえしている店内を、さすがに感慨ぶかげな面持ちでながめていた。彼女の胸中には、夫の利市とはじめてここにささやかな店をひらいてからの、さまざまな思い出が去来していた。

「まつをはん。名残りおしいなあ」

「紀州屋も、帳場に顔をのぞかした。

「連合会のみなさんに、えろうお世話になつて、かたぢ

これからやったのになあ

「まあ、そう思つてもろうてゐるうちにやめるのんが、花かも知れまへんわ」

まつをも、さびしそうに笑つたが、

「けど、紀州屋はん。かたち屋の店の灯は消えて、わたしは、この土地に骨をうずめるつもりや」

かたち屋は、三日間の大売出しをおえると、三十年に

ちかい歴史の幕をおろした。

御崎商店街のまんまん中にある店のあとには、借手があとをたたなかつた。同業の吳服屋も何軒か、店の構えをそのままにして、借りたいといつてきた。

だが、まつをは、はじめから個人の商人に店を貸す意志はなかつた。かたち屋は、洋風に模様がえして、兵庫信栄の御崎出張所に名前をあらためた。彼女が兵庫信栄に店を貸したのは、彼女自身にこれから新しい思想があつたからである。

まつをは、店の整理をすますと、兵庫信栄の野田に、

適当な別宅を物色させた。

「家はそうちゅうのうでもええけど、どこぞ、高台にあることをさがして。神戸の町を一目で見おろせるよう

な、静かな場所がええなあ」

その条件にかなつた家を、野田は、山手の北野通りの一角にみつけてきた。ここからなら、神戸の中心街とその先きにひろがる神戸港を、一望のうちにみわたすことができる。それに、良治が一中へ通学するにも、御崎よらずつと便利だつた。

まつをは、四間ほどのこじんまりとした平屋建てのこの家を手にいれると、気のむくまま、御崎の本宅と北野の別宅を往ききした。良治は、御崎から北野に引越し、この別宅から学校へ通うようになった。良治の面倒は、勢津が、店のものの世話に但馬の村岡から連れてきてくられた女中がみるとことになった。



K MATSUEKA

屋も死花を咲かせてもろうてますわ」

「なにを遠慮したことてるんや、もともと連合会は安福とあんたの二人が作つたんやないか。生みの親に、せめてもの恩返しするのは、当りまえや」

紀州屋も、帳場のまえに坐わりこんでいた。

「けど、なんというても、名残りおしいなあ。この御崎の町から、草分けのかたち屋の名前が消えていく。市橋も、このごろは政治に熱中しだして、本業は店のもんにまかせきりや。森川先生が衆議院に出馬されるいうんでその後金に県会へ乗りだすつもりらしい。『三人組』で店をやつとるんは、わし一人になつてしまつたが」「さびしいけど、それだけ、あんたには頑張つてもらわんとなあ。お願ひしまっせ」

「うん。あんたも、病氣さえせえへなんだら、まだまだ

北野の別宅は、たしかに見晴しがよかつた。南向きの縁先きに籐椅子をだすと、元町から三宮一帯が、目の下にみおろせた。港にはいつも大小さまざまな船が舫い、威勢のいい汽笛がこの高台まで風に乗ってひびいてくる。西の端には、新開地のタワーがそびえていた。その彼方に、ごみごみとした兵庫の街がひろがつていた。

いままで、まつをは、いつもあの兵庫の街から、神戸

の山の手を仰ぎながら暮していた。下町の低い土地へばかりつくようにして働きながら、いつかは、そこから這いあがって、毎日仰いでいる山の手に住んでみたい——そんなひそかな夢を、まつをは、いくど胸に描きつづけてきたことか。いわばそれは、下町に住む庶民のだれもが抱く、生涯の願望だったといえたかも知れない。

その夢を、いままつをは、不慮の病いにたおれたことで、思いがけなく実現することができたのである。彼女は北野の別宅にくると、縁先きの籐椅子にすわって、あきず神戸の街々をながめおろしていた。

だが、卒中以来、彼女は、ふつりと酒をたつてていた森川の紹介で、布引の田川博士の往診を十日にいちどうけるようになっていたが、もちろん、医者に止められるまでもなく、まつをは一滴の酒も口にしようとはしなかつた。

彼女は、かたち屋の店をとじたときもそうだが、いつたん思ひたつと、是が非でもその決心をつらぬかなければ気がすまなかつた。御崎にいても、客がくれば、あいかわらず酒をだした。だが、自分は盃に手をふれようとはしなかつた。客がすまなかつて、

「まあ、そんな堅いこといわんと、一杯だけでもどうだす？」一杯ぐらいなら、なんにも身体にさわりまへんで」

そんなことをいいながら、盃をすすめても、「いや。あかん。ほんまにあかんのや」と、まつをは誘惑にのらなかつた。

田川博士も、晚酌に五勺程度なら、かえつて血行をよくするからいいだろうと、許可してくれていた。だが、禁酒は、自分に誓つたことだった。

「こんな身体になつてしまつて、もう欲も得ものうなつてしまつたわ」

まつをは、客に首をふつてみせた。

「あれほど好きやつたお酒も、呑みたいという気持ちになれん。人間、こう元気がのうなつたら、もうあかんな



あ

と、動かなくなつた左の手を右手で抱きこんだまま、
ただ微笑するだけであった。
たしかに、酒をたつことは、事実であった。思ひき
つて、かたち屋の店も、とじはした。
しかし、欲も得もなくなった、という言葉だけは、ま
つをの本心からのものではなかつた。まだうつ勃として
胸中にたぎつているものがあつた。

まつをは、呉服商売で築きあげた資産を、こんどは不
動産に投資しはじめていたのである。

おなじ不動産への投資でも、土地は利廻りが薄くて、
そろばんにあいかねる。そこで投資の対象を、もっぱら
家屋にむけていた。

そのころ、家作を三軒も持つていれば、女ひとりがゆ
つくり喰べていいといわれた時代であつた。貸家の家
賃は、所得税や地代をさしひいても、年一割の利廻りは
かたい。

まつをは、兵庫信栄の野田を使って、手ごろな貸家を
つぎつぎと買いこんでいった。彼女が御崎の店を兵庫信
栄の営業所に貸したもの、自分が家屋の売買をするのに
なにかと役に立つだらうと自論んだからであつた。

だが、身体の不自由なまつをは、どの貸家の売買も、
自宅で坐つたまま行つていた。

「お家はん。上沢に安値の出物が五軒ほどおますのやが
どうですやろ?」

そういうて、野田が話を持つてきても、まつをは、じ
つと小首をかしげて野田の話をきくだけで、
「よし。野田はんがまちがいないとと思うのやつたら、買
うとこ」

と、現場をみようともせずに即決した。

野田は、その道で二十年以上もめしを食つてきた、い
わばそれかららの周旋屋だったが、そうしてこともな
さそうにまつをにいきられると、思わず、自分の肚の
うちを見すかされたよう、どきりとした。完全にまつ
をに呑まれていたのである。

野田はまつをに命じられるまま、売買の契約から登記
の手続き、年度末の税金、家賃の集金まで、兵庫信栄の
社員でありながら、いつのまにか、まつをの忠実な下僕
のようになつて働いていた。

(つづく)

★神戸の催物ごあんない★

<音楽>

►カルメン・キャバレロ神戸公演

10月5日(土) PM6:30 料金 S-¥1,700 A-¥1,300
B-¥1,000 於神戸国際会館

►西郷輝彦ショウ

10月9日(水) PM2:00 7:00 民音10月例会 会費¥
500 於神戸国際会館

►長編音楽映画「ペートーベンの生涯」

10月19日(土) PM6:30 ピアノ独奏/井内澄子 お話
/外山雄三 労音10月例会 会費¥500 於神戸国際会
館

►リカルド・サンツス神戸公演

10月25日(金) PM6:30 料金 S-¥1,800 A-¥1,500
B-¥1,200 C-¥1,000 於神戸国際会館



►有馬 徹とノ
ーチェ・クバ
ーナ
10月23日(水)
PM6:30
労音10月例会
会費 ¥600
於神戸国際会館

►ファンダリ演奏楽団(アルゼンチンタンゴ)

10月24日(木) PM7:00 民音10月例会 会費 ¥650
於神戸国際会館

<演劇>

►劇団民芸「切られの仙太」

10月11、12日 PM6:15/13日 PM1:30 作/三好十郎 演
出/宇野重吉 音楽/山本直純 出演/滝沢修 芦田伸
介 有馬稻子 横山文枝 米倉齊加年ほか 労演10月例
会 会費¥650 於神戸国際会館

►兵庫県劇団協議会第1回合同公演「大正七年の長い夏」

10月26日 於西宮市民会館 11月10日 於西脇市民会館
11月18～20日 於神戸海員会館 作/小田和生 演出/
北島三郎 出演/嶋連太郎 阿木五郎 鳴尾よね子 須
永克彦<以上道化座>仲比呂志 多井淑代 足立宏<以
上四紀会>新山亮一<自由劇場>山本弘子<姫人座>は
か詳細はTel番号5271 道化座まで

<美術>

►中国青銅器展(白鶴秋季展)

9月14日～11月24日 料金 ¥100 於御影白鶴美術館

►南蛮紅毛美術展

9月21日～10月27日 料金 ¥100 於神戸南蛮美術館



イに富む神戸にすっかり魅せられた
私でした。私の去り難い気持を察して、
かその友人は、一冊の本をくれました。
た。それがこの、神戸への
また。神戸に来る日を楽しみにしてお
ります。(千葉 上原哲郎)

編集後記



いかず後家いうんや。ホンマ／ゲゲゲの鬼太郎やなあ／（小泉美喜子）★「この種を大事に育てると、鈴虫になる」といわれもられた、何か植物の種をビンに土を入れて大事に持っていた子供がいたとか。

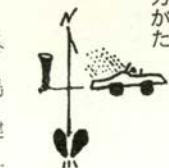
発行にいろいろとお世話いただいた方がた

★今年の夏休み、はじめて神戸へ遊びにきました。友人一家に会い、お土産をもらいましたが、港、それに美しい女性などバラエティ満載でした。

★神戸を離れてまる三年、帰社する機会のなくなった昨今、人から「神戸へ、おもてせいでいただいて」といふ言葉が、未だつかない神戸の実態をおどろきつつ毎日楽しんで眺ませていた。ついでに、いつもにもマスプロの都会、東京にはあるよ。まだはじめないので何かが私にはあるよ。それで故に、神戸の町がうまい。食事、住まい、生活の風情がトリューム。トウキョウにならぬようへ發展することを祈つても心配しております。ところで六八五年五月号にて東京にても、神戸っ子、愛読し、神戸の町を愛している方々のいることを、どういふればあらゆる階層を超えた神戸を愛する人々の集いでも夢見ていません。もしそうのようない集会があるとしたら東京に限らず各地の集いを詠歌して紹介下さい。(東京都池上曉)

★秋。芸術シーズンたけなわとなつて。10月号では、仲間のて比を重ね

植物の種をビンに土を入れて大事に持っていた子供がいたとか。



神戸つ子ごあんない

芽は何としてもだらかやはれに新鮮エエネルギーにならないと思ふ。今まで出でよ。昭和三世人小泉康夫著

★対象に対して理性と感性を同時に感じさせる時がある。それが愛なのだ。
たとえ、それが一瞬であっても。その時の自分の歴史が脈打っている。
自分の歴史に自信を持てるからだ。
うかがい、愛の確認の尺度である。
戸で育つ人材に対する自分の土壤への理解と育ての恩恵には必ずある。さ
もなければ、必ずしや、笑いながらセミの餌食となる。(岡本邦彦)
★小生、先天的に少しおかしかなのだ。
が、後天的に得形質スローガンが、
吾が言行は全く両者に頼わされてい
る。前者は桂後者は桔。どちらかを
を捨てたいのだが、それそうにもな
い。かくて締切間際:(高田嘉彦)

★秋。芸術シーズンたけなわとなつた。10月号では、神戸の文化を推進してゆく若い世代が抬頭しはじめてるので昭和の新人を紹介する。新人とかフレッシュユーマンという言葉は大変意味深づかが進しいが、ややこ

植物の種をビンに土を入れて大事に持っていた子供がいたとか。カブト虫が飛ぶように高値で売れた今年の夏のお話。

木柏嘉嘉金大小小岡岡牛上榎石井石乾砂青荒有浅朝安
曾比
下井納納井淵野根崎部崎尾田並野上野 野木木岡田奈部

健毅正元ツ一真 伊真吉將正成左信豊 重信長 正ト都衛繁一六治彦ム夫造忠子一朗雄一明門一彦仁雄晃道平隆夫

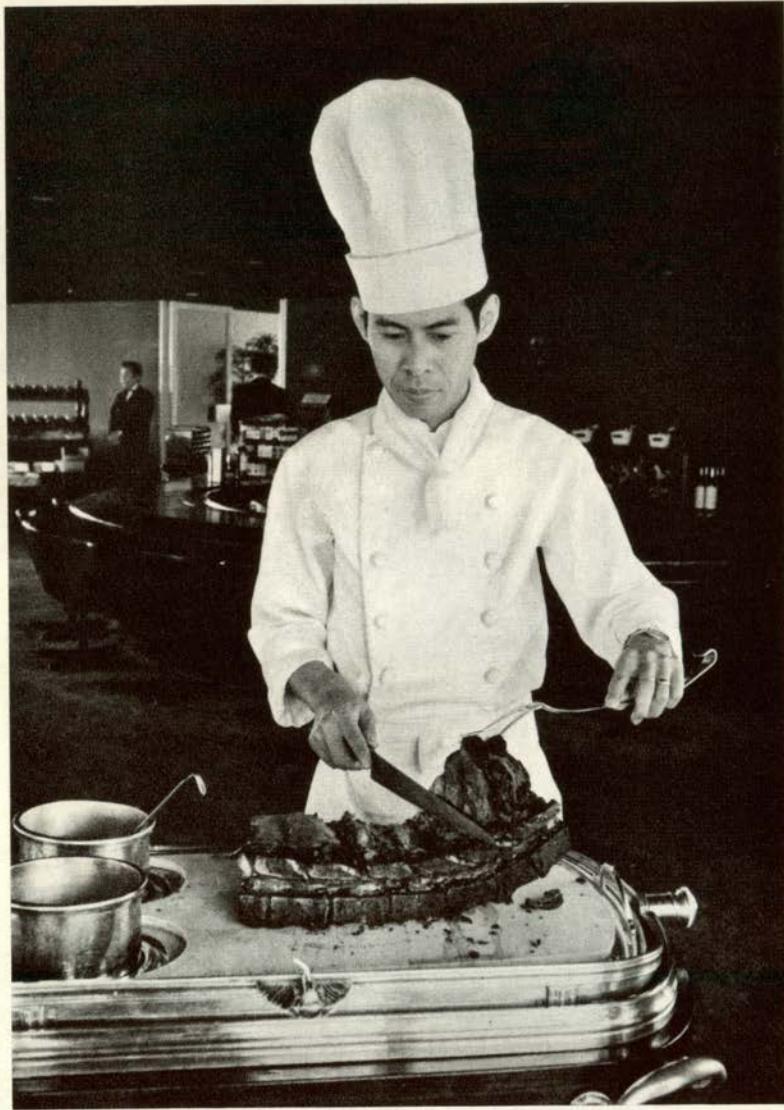
竹津玉田田田滝滝竹角砂塙新白雀坂阪古後小小小小
馬高井中中村宮川川中南田路谷川部口本林藤林林泉林磯

準和 健寛虎勝清 猛重義秀 昌干 喜末英秀徳芳良
之 一 之 之
助一操郎次介彦二一郁夫民孝雄渥介雄勝樂二一雄一夫平

神行山若百村宮宮松福深原畠原野南中直外
戸
青吉口杉崎上地崎井富水 口沢部西木島
年
会哉泰 辰正裏辰高芳惣泰專忠幸圭 太健
議 二 一次二 一
所女弘旌雄郎二雄男美吉良郎郎郎三勝郎吉

六月分
1年分
六五〇円(送料共)
◎月刊神戸っ子に紹介されている
神戸の銘店には、お客さまへのサ
ビスとして神戸っ子がおかれています。
◎月刊神戸っ子をお買求めの時には
その本屋さんどうぞ。
そこは書籍部
コーベブックス さんちかタウン
大丸 書籍部
神戸大丸五番街

子編集室内にあります。



この腕を売る

茅切 勇

〈オリエンタルホテル
スカイレストラン 料理係長〉

ローストビーフ——オリエンタルホテルのスカイレストランの名物であり、神戸の名物である。

銀のワゴンに骨つきのまま運ばれる、ピンク色のミディアム（中備）にやかれた、リブロースを、あざやかな手つきで、スライスしてくれる。

彼、スカイレストラン担当の料理係長・茅切勇（かやきりいさむ）氏は宴会レセプションなどの、氷細工彫刻の名人でもある。

ショウのある料理、目と口で味わう料理、新しい時代の料理を演出する彼は、職人でもあり芸術家でもある。

(ローストビーフ・一人前
1500円～2400円)
連絡方法 オリエンタル
ホテル スカイレストラン
TEL(33)8111内線280

ポートルツク

10月

秋のカクテル・ドレス / 福富芳美

（福富学園
明石女子短期大学長）

神戸ドレメ院長



港と街と山を見晴すオリエンタルホテルのスカイレストラン。汽笛の音が哀愁を帯びて秋のK O B Eに響くときです。今月は本格的なオーガンジーレースのカクテルドレスをご紹介しましょう。ビーチピンクのシルクオーガンジーレースでボーダーカットのゴーチャスなマテリアル。裾はボーダーカットを生かし、Aラインを二段に重ねたチュニックスタイル。タックされた小さな袖が若さと愛らしさを見せたお嬢さんらしいシルエット。音楽会や観劇、ディナーなどアフター・ファイブの社交的な雰囲気にふさわしい秋のカクテルです。

★10月のマドモアゼルは村田真理子さん(20才)。甲南女子大国文科3年生。村田真珠のお嬢さんだが、花柳はまの名をもつ日本舞踊の好きな神戸っ子。アメリカサンジェゴの日本村ムラタの真珠館で3ヶ月間毎日踊ったとか…。クラブは謡曲部、お茶、お華、長唄とすべて日本趣味。優雅で知的なムードの真理子さんは、内面心のしつかりしたねばり強さを秘めているらしいやうだ。

カメラ / 米田定蔵



オフィス・レディの悟味酉訪問 <12>

★ 風流なマス席で楽しむ鍋もの
「赤と黒のコントラストが風流ネ」と
マス席で、近代的なマドモアゼルも
味覚の楽しさにごきげんです。

（資生堂神戸販社勤務）

的崎久美子（左）
多鹿達子



味覚の秋に、三宮阪急西口の悟味酉本店が、全店マス席の
鍋もの専門店としてスタートしました。
名物ちゃんこ鍋を横綱に、楽しい鍋ものをご賞味下さい。

お茶漬・おむすび・鍋もの
悟味酉
阪急西口 <33> 3848

鍋もの
炉ばた **悟味酉**
阪急西口 <33> 3848
<2階>

お茶漬・おむすび・鍋もの
ふる里
生田前筋 <33> 5535

さんちかタウン 悟味酉ちゃんこ湯／味ののれん街 TEL. 神戸 (39) 5319

こうべ ろまん

<10>

フラワーロード



文——陳舜臣 カメラ——緒方しげを

市庁舎のまえのフラワーロードは、花時計にはじまって、噴水に終る。噴水広場は青年の広場である。外国の公園では、一日じゅう一人でベンチに坐つている老人がよくいるらしいが、ここではそのような老いた孤影はめったにみかけない。坐っているのも、ねこんでいるのも、若い男女である。ビジネスセンターに近いところにこのような若さに溢れた憩いの場があるのはたのしいことだ。

重なりあつた雲の波。そのむこうはビルが建ちならぶ。

大都会のどこにもみかける沙漠的乾燥地帯である。

そのなかに清冽な白い水柱の尖端が噴きあげている。風景はたちまち潤おい、人びとの心は洗われる。神戸はどうも潤おいについては、うしろの山の緑に頼りすぎるようだ。

自然もいいが、人間のにおいをもつた人工の美も忘れてはならない。

フラワーロードと噴水は一つのモデルケースであろう。





すずしげな水のカーテン。よくみるとそのカーテンはうごいている。噴きあげていると、いうのは、若さのシンボルである。噴水をうしろに、若者たちは語り合う。とくに未来の希望を語り合うには、絶好の背景である。水しぶきが、彼らの若々しい頬にかかるだろう。水の音が語らいの声を消しはしないだろうか？——いや、青春の日にある人たちが、そんなことを気にかけるものか。

No.8

●サンサカエ・ゴルフコーナー

丘陵を背にしての神心会コンペ



今秋のモード

神戸の秋を彩るため
に、サン・サカエでは、
アメリカの紳士服バーナー
ード・アルトマンを入荷
しました。ラフなアメリ
カン調の代表的傑作です
★ズボン￥ 6,800.-
★上着 ￥28,000.-より

天気良けれど、見事ブービー

写真中央 友金信雄<兵庫県会議員>

左 永田正男<神心会会长>

神心会とは、神戸銀行に心を預ける人の
集いである。今日は本拠地宝塚から兵庫
カントリーにやってきた。
—今日の成績ですか？ 天気良けれど見事
ブービーですよ。会長は三位。実に口達
者なゴルフ振りだネ。ドライバーが出た
時の爽快さは実に素晴らしい—友金氏談

マックグレガー



マンシング
ウェアー



ラコステ



men's apparel

サン・サカエ

神戸元町 2
TEL <33>-7885

神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

* 宝飾品 Jewel·Pearls

| | |
|---|----------------------------------|
| ① 宝 飾 御木本真珠店 | 元町通全館 1 段 Mikimoto Pearls |
| ② 宝 飾 田崎真珠店 | 新開全館秀品店 Kobe Shinbun |
| ③ 宝 飾 北村真珠店 | 元町通二丁目 Kitamura Pearls |
| ④ 宝 飾 夕ジマ | 元町通二丁目 Tajima Jewel |
| ⑤ 時計と宝石 美田時計店 | 元町通三丁目 Mita Watch Shop |
| ⑥ 宝 飾 神戸宝石 | 元町通三丁目 Kobe Jewel |
| ⑦ 真珠・毛皮 ムラタ | さんちかくタウン Pearly Fur & Ladies' |
| ⑧ 紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop 神士服 柴田音吉洋服店 | 元町通四丁目 Tailor Sibata |
| ⑨ ネクタイ 元町バザー | 元町通一丁目 Motomachi Bazaar |
| ⑩ 紳士服 三恵洋服店 | 元町通四丁目 Tailor Mituei |
| ⑪ 男子洋品 フナキヤ | 元町通三丁目 Funakiya |
| ⑫ 紳士服 十字屋洋服店 | 元町通五丁目 Tailor Jijiya |
| ⑬ 洋品雑貨 サノヘ | 元町通二丁目 Sanohe |
| ⑭ ワイシャツ 神戸シャツ | 大通二丁前 In front of Daimaru |
| ⑮ 紳士服 洋服の粹渡辺 | 元町通一丁街 Center-Gai |
| ⑯ 衣生活品 ニッケンショールーム | 元町通三丁目 Nikkenshowroom |
| ⑰ 紳士服 神戸テーラー | 阪急西口、西 Hankyu west Exit |
| ⑱ 若人の服飾 マック | 三宮本店アロード店 Center-Gai, Kyoto店 |
| ⑲ 紳士服飾 うネ | 元町通一丁目 Center-Gai |
| ⑳ 紳士シャツ 大和屋のシャツ | 元町通二丁街 Yamatoya Shirt |
| * 婦人洋装・洋品 Ladie's Shop 相子 | マキシム |
| ㉑ 服飾雑貨 エスター・ニュートン | エスター・ニュートン |
| ㉒ 洋品 スギヤ | スギヤ |
| ㉓ ハンドバッグ シラサ | シラサ |
| ベビーアイテム フアミリア | フアミリア |

* 宝飾品 Jewel·Pearls

| | |
|---|----------------------------------|
| ① 宝 飾 御木本真珠店 | 元町通全館 1 段 Mikimoto Pearls |
| ② 宝 飾 田崎真珠店 | 新開全館秀品店 Kobe Shinbun |
| ③ 宝 飾 北村真珠店 | 元町通二丁目 Kitamura Pearls |
| ④ 宝 飾 夕ジマ | 元町通二丁目 Tajima Jewel |
| ⑤ 時計と宝石 美田時計店 | 元町通三丁目 Mita Watch Shop |
| ⑥ 宝 飾 神戸宝石 | 元町通三丁目 Kobe Jewel |
| ⑦ 真珠・毛皮 ムラタ | さんちかくタウン Pearly Fur & Ladies' |
| ⑧ 紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop 神士服 柴田音吉洋服店 | 元町通四丁目 Tailor Sibata |
| ⑨ ネクタイ 元町バザー | 元町通一丁目 Motomachi Bazaar |
| ⑩ 紳士服 三恵洋服店 | 元町通四丁目 Tailor Mituei |
| ⑪ 男子洋品 フナキヤ | 元町通三丁目 Funakiya |
| ⑫ 紳士服 十字屋洋服店 | 元町通五丁目 Tailor Jijiya |
| ⑬ 洋品雑貨 サノヘ | 元町通二丁目 Sanohe |
| ⑭ ワイシャツ 神戸シャツ | 大通二丁前 In front of Daimaru |
| ⑮ 紳士服 洋服の粹渡辺 | 元町通一丁街 Center-Gai |
| ⑯ 衣生活品 ニッケンショールーム | 元町通三丁目 Nikkenshowroom |
| ⑰ 紳士服 神戸テーラー | 阪急西口、西 Hankyu west Exit |
| ⑱ 若人の服飾 マック | 三宮本店アロード店 Center-Gai, Kyoto店 |
| ⑲ 紳士服飾 うネ | 元町通一丁目 Center-Gai |
| ⑳ 紳士シャツ 大和屋のシャツ | 元町通二丁街 Yamatoya Shirt |
| * 婦人洋装・洋品 Ladie's Shop 相子 | マキシム |
| ㉑ 服飾雑貨 エスター・ニュートン | エスター・ニュートン |
| ㉒ 洋品 スギヤ | スギヤ |
| ㉓ ハンドバッグ シラサ | シラサ |
| ベビーアイテム フアミリア | フアミリア |

② 洋傘ショール

| | |
|----------|--------|
| ③ 洋装 | オカダ |
| ㉔ 婦人服飾 | マスヤ |
| ㉕ 輸入服地 | ベニヤ |
| ㉖ 婦人・紳士服 | マルゼン |
| ㉗ 婦人・紳士服 | セリザワ |
| ㉘ 毛皮 | ベニ一毛皮店 |

カ

| | |
|-----------|-----|
| ㉙ 儀式用品 | カニヤ |
| ㉚ 装身具 | カニヤ |
| ㉛ 服飾品 | カニヤ |
| ㉜ 装身具・服飾品 | カニヤ |
| ㉝ 装身具・服飾品 | カニヤ |

ダ

| | |
|--------|----|
| ㉞ 儀式用品 | ダム |
| ㉟ 儀式用品 | ダム |

オ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | オカダ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

ダ

| | |
|--------|----|
| ㉟ 儀式用品 | ダム |

オ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | オカダ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

| | |
|--------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |

カ

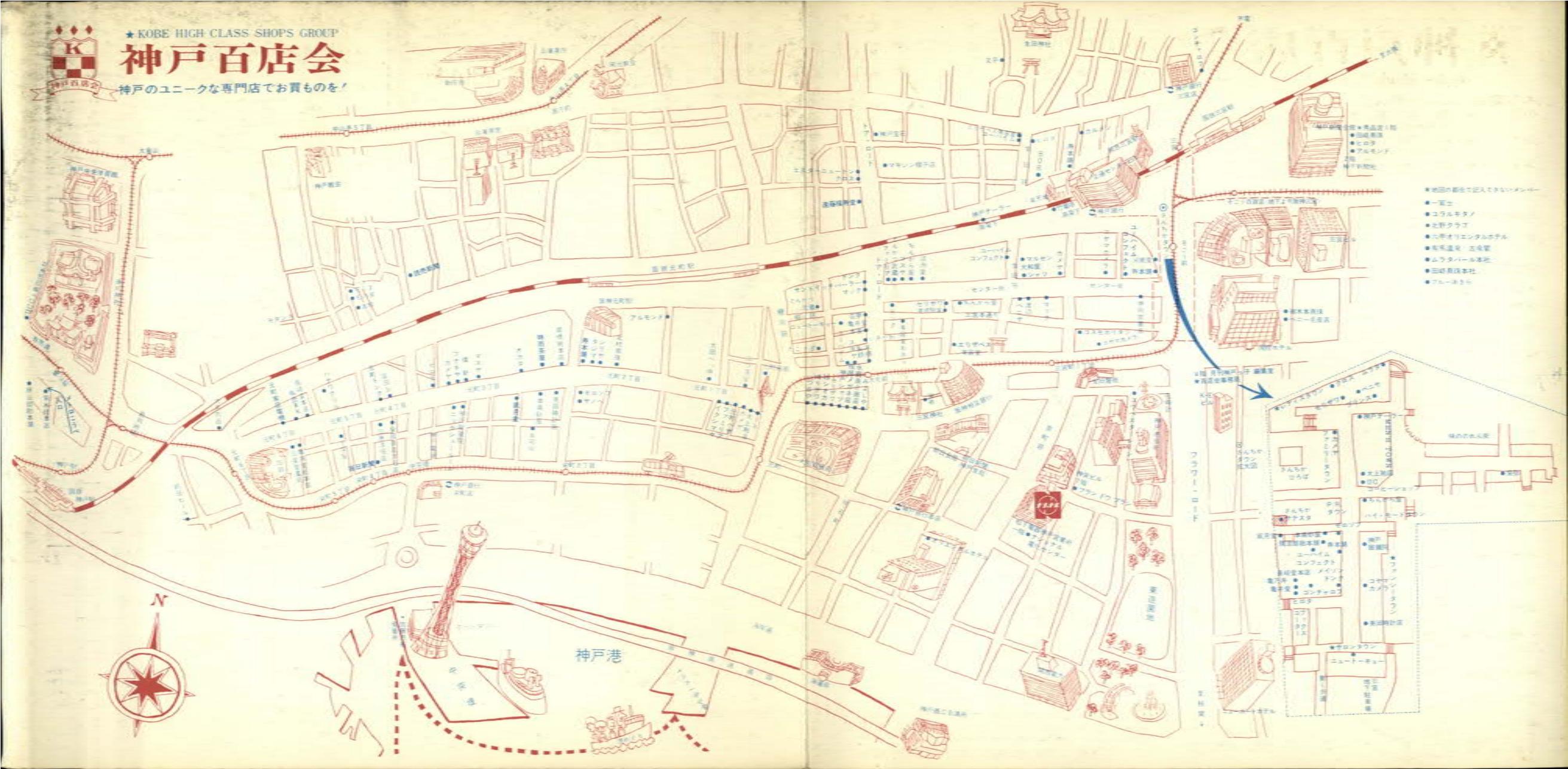
| | |
|------------|-----|
| ㉟ 儀式用品 | カニヤ |
| ㉟ 儀式用品</td | |



★ KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

神戸百店会

神戸のユニークな専門店でお買ものを!



*地図の都合で記入できなかったメンバー

●一宣士

●コルキタノ

●北野グラフ

●大曾オリエンタルホテル

●阪神電気・古美堂

●ムラタバール本社

●三姫貝珠本社

●ブルーあきら



建設資金のワズカ^{1/3}だけを《こうべ》の定額積立と自由積立のセットでスピードに積立てていただければ、あと^{2/3}(つまり積立額の2倍!)は《こうべ》がすぐご融資します。いつでも気軽にご相談ください。



東宝／内藤洋子



実現を
3倍に
スピードアップ!

- 融資額 30~500万円 (積立額の2倍以内)
- 積立期間 1年以上 (据置期間3ヶ月を含む)
- 返済期間 10年以内(定額積立期間の3倍まで)

神戸銀行

★百店会でのお買物は神戸銀行ホームチェックをご利用ください

ダイナミックに迫る一生きた音

昭和四十年一月二十日 発行所／神戸市兵庫区八幡通五丁目九六（市役所前） K・Eビル四階
第三種郵便物認可 昭和四十三年十月一日発行毎月一回 大日本印刷株式会社印刷
編集発行／小泉康夫（送別料12円） TEL 22-730三七〇一〇〇円



FRONTIER フロンティア デラックスタイプ 730D

音響技術の革新(電子ピックアップ)採用

特許の半導体カートリッジ5ポイント

1 再生周波数が極めて広く(フラット)
2 針先の追従性(コンプライアンス)が優

れています

3 クロストーク特性が良い

4 抜群の低歪率を誇る

5 ハム・雑音が圧倒的に少い

電子リターン方式

半導体ピックアップの特長を十分に發揮
できるよう従来のリターン概念を打ち破
った画期的なものです

現金正価

110,000円

本体 (SC-730) 99,800円

付属品

イシテリアユニット(SH-7) 10,200円

月賦定価(15回)

120,500円

但しテープデッキは別売り

形状 総合

巾184.8×高さ72.0×奥行35.5cm

生きた音

ナショナル
ステレオ



松下電器

●あらゆる電化製品のコンサルタント——神戸ナショナル電化センター 神戸市生田区京町78 TEL神戸(39)8210